

静岡県東部地域企業経営動向調査(速報)

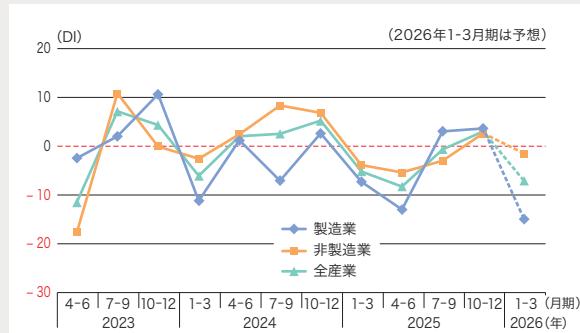
(2025年10-12月期実績、2026年1-3月期見通し)

① 業況概要(自社)

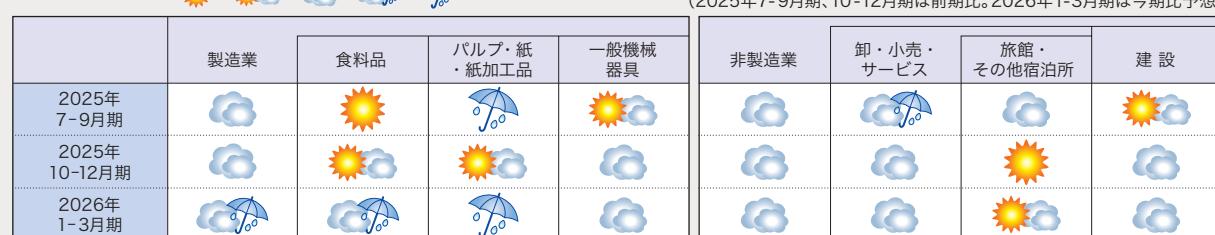
2期連続の上昇でプラス水準回復も、来期は低下予想

静岡県東部地域における2025年10-12月期の業況判断DI(全産業:前期比)は2期連続の上昇でプラス水準を回復した。(前期-0.6→今期3.1、以下同様)。製造業(3.1→3.7)はパルプ・紙・紙加工品で判断が改善したが、食料品や金属製品などで低下に転じたため、全体DIはわずかな上昇にとどまった。一方、非製造業(-2.9→2.7)は建設で低下したが、旅館・その他宿泊所を含む卸・小売・サービスで改善が進み、全体DIも上昇が続いている。

2026年1-3月期の予想DI(今期比)は全産業で-7.0、うち製造業-14.8、非製造業-1.4といずれも低下に転じており、特に製造業で先行きへの懸念が目立つ。



業種別天気図 業況好調 ← → 業況不調

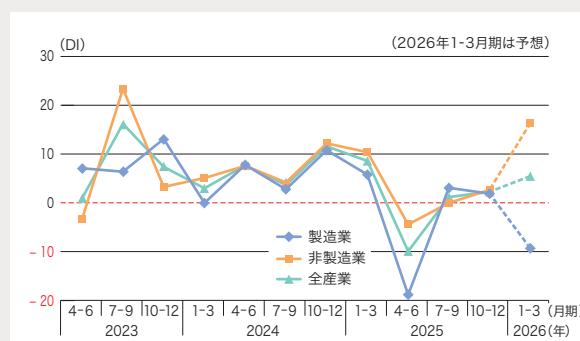


② 売上動向

製造業ではDIが若干低下、非製造業は上昇が続く

2025年10-12月期の売上動向DI(全産業:前期比)は小幅ながら2期連続で上昇し(前期1.2→今期2.3)、売上の増加傾向が続いている。製造業では、パルプ・紙・紙加工品でDIが大幅に上昇したが、一般機械器具や金属製品などで低下に転じ、全体では3.1→1.9と若干低下した。一方、非製造業は建設でDIが低下したが、旅館・その他宿泊所では大幅に改善し、全体でも0.0→2.7と上昇が続いている。

2026年1-3月期の予想DI(今期比)は、非製造業では16.4と上昇への期待がみられるが、製造業では-9.3と大幅な低下が見込まれ、対照的な動きとなっている。

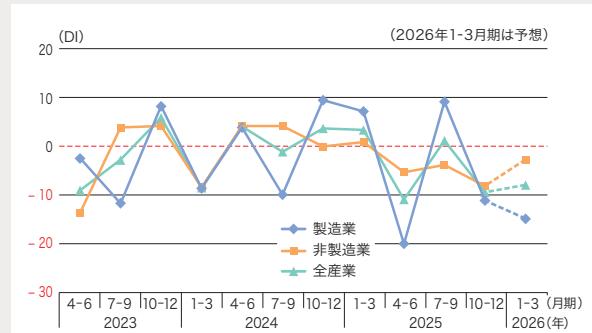


③ 利益動向

製造業、非製造業とも低下に転じマイナス水準となる

2025年10-12月期の利益動向DI(全産業:前期比)は大幅な下降に転じ(前期1.2→今期-9.4)、2期ぶりにマイナス水準となっている。製造業では、食料品、一般機械器具、金属製品などでDIが大幅に低下し、全体でも9.2→-11.1と20ポイント以上の低下となった。一方、非製造業は旅館・その他宿泊所を含む卸・小売・サービスではDIが改善したが、建設で大幅な低下に転じたため、全体でも-3.8→-8.1と低下している。

2026年1-3月期の予想DI(今期比)は全産業で-7.9と若干上向くものの、製造業では-14.8とさらなる低下が見込まれるなど、先行き感は厳しい。



④ 経営上の問題点

「求人難」の割合が非製造業を中心に上昇

「求人難」の回答割合が前期比15ポイント上昇して最も高くなり、特に非製造業での上昇が目立つ。また、「原材料・資材・仕入商品等の値上り」と「受注・売上の停滞・減少」も製造業を中心に割合が上昇している。一方、「従業員の高齢

化」と「人材の育成」は前期より割合がやや低下したが、それでも割合は30%を超えており、引き続き重要な問題点として位置付けられている。

	2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		前期比 割合変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1. 求人難	60	32.8%	52	30.8%	58	45.3%	↑
2. 原材料・資材・仕入商品の値上り	69	37.7%	57	33.7%	50	39.1%	↑
3. 受注・売上の停滞・減少	67	36.6%	58	34.3%	46	35.9%	↑
4. 人件費の増加	63	34.4%	55	32.5%	45	35.2%	↑
4. 従業員の高齢化	65	35.5%	68	40.2%	45	35.2%	↓
6. 人材の育成	50	27.3%	63	37.3%	40	31.3%	↓
7. その他経費の増加	46	25.1%	37	21.9%	26	20.3%	↓
8. 生産・販売能力の不足	28	15.3%	20	11.8%	13	10.2%	↓

(回答企業183社)

(回答企業169社)

(回答企業128社)

調査の概要

- 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業547社 回答企業数128社(回答率23.4%)
- 調査方法 当研究所の指定した項目につき実績と見通しを記入(回答は紙とウェブを併用)
- 調査対象期間 実績:2025年10-12月期 見通し:2026年1-3月期
- 調査期間 2026年11月中旬-12月下旬
- その他 本調査結果は、11月下旬までの集計による速報値です。
最終的な確報値は、今後弊所ウェブサイトにて公表いたします。
また、今回より調査対象企業の範囲を見直しています。

DI:ディフュージョンインデックス (Diffusion Index)の略。
「上昇・増加・好転」した企業割合から「下降・減少・悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標